

《令和3年度 教育委員会事務局 組織目標》

◆目標管理者

部長	南川 等
理事	作田 まさ代

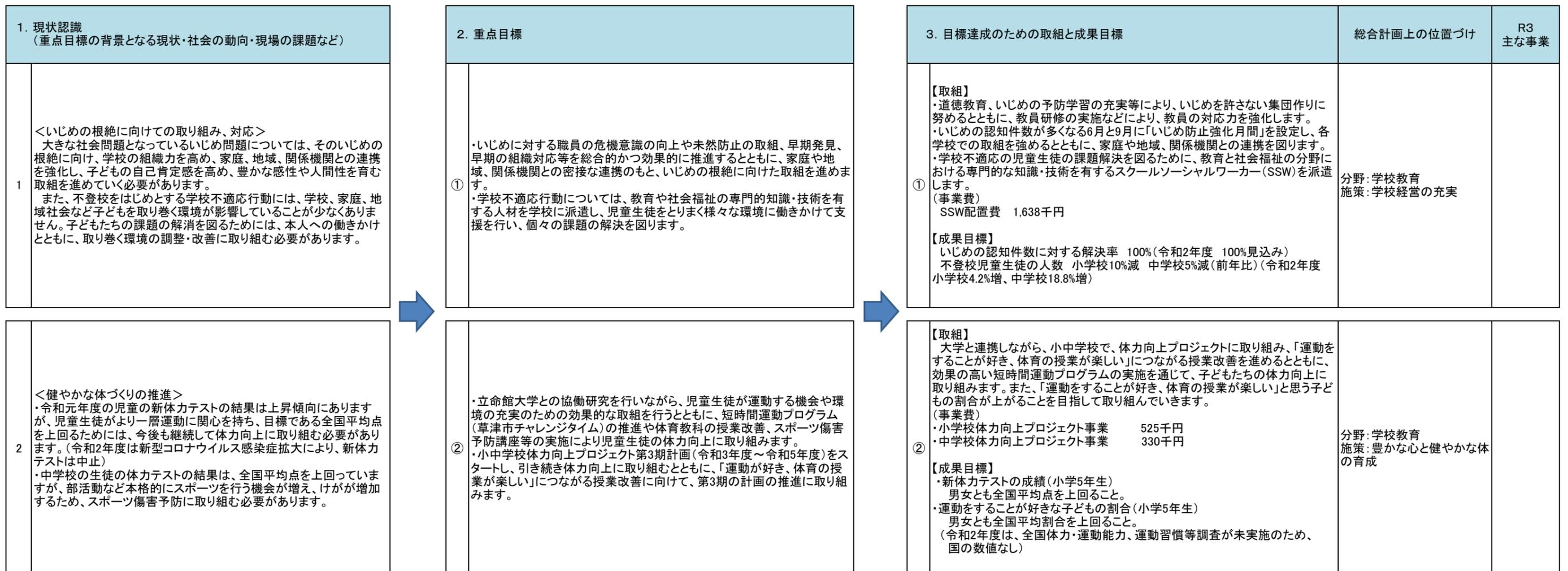
◆部局の役割・目標像

草津市教育振興基本計画の基本理念「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」の実現に向けて、次の4つの基本方向に基づき、全国に誇れる実践を重ね、本市の教育のさらなる向上を目指します。
また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、教職員および児童生徒が安心して過ごすことのできる学校環境づくりに引き続き努めてまいります。

- ◆子どもの生きる力を育みます
 - ・いじめを根絶する取組を推進します。
 - ・子どもの健やかな体づくりを推進します。
 - ・ICTを活用した教育を推進します。
 - ・基礎学力向上のための取組の充実を図ります。
 - ・英語教育を推進します。
- ◆学校の教育力を高めます
 - ・配慮を要する子どもへの支援体制の充実を図ります。
 - ・学校等の施設・設備の整備を推進します。
- ◆社会全体で学びを進めます
 - ・市民の生涯スポーツ活動を支援します。
 - ・第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会を推進します。
- ◆歴史と文化を守り育てます
 - ・市民が文化・芸術に触れる機会の充実を図ります。
 - ・文化財の調査と保護を推進します。
 - ・歴史資産を生かしたまちづくりを推進します。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	5	0	0	5	-	-	-
教育総務課	10	0	1	11	2,187,152	1,573,112	614,040
生涯学習課	8	0	2	10	212,130	56,802	155,328
スポーツ保健課	7	0	3	10	551,487	21,310	530,177
学校給食センター	2	0	2	4	631,064	384,768	246,296
スポーツ大会推進室	3	0	0	3	3,849	1,600	2,249
歴史文化財課	7	1	2	10	89,626	69,145	20,481
草津宿街道交流館	3	1	8	12	40,634	13,000	27,634
図書館	7	0	15	22	92,232	3,336	88,896
南草津図書館	3	1	10	14	56,394	74	56,320
学校教育課	9	0	1	10	205,608	10,942	194,666
児童生徒支援課	8	0	1	9	211,905	31,507	180,398
教育研究所	3	0	7	10	32,907	164	32,743
学校政策推進課	5	0	2	7	165,392	73,684	91,708
合計	80	3	54	137	4,480,380	2,239,444	2,240,936



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R3 主な事業
<p>3 <健やかな体の育成> 全国的に中学校給食の実施が進んでいることや、本市における中学校給食を望む保護者の声、市議会での請願の採択などといった社会情勢の変化等を踏まえ、さらなる教育環境の向上と食育の推進を図ることを目的として、平成29年2月に策定した中学校給食実施基本計画に基づき、センター方式による中学校給食を実施する必要があります。</p>	<p>③ 令和3年度3学期から中学校給食を実施するための取組を推進します。</p>	<p>【取組】 ・給食センター建設工事の完了に向け引き続き工事を進めます。 ・中学校配膳室増築工事(草津中、新堂中)の完了に向け引き続き工事を進めます。 ・令和3年度3学期から中学校給食を開始します。 (事業費) 中学校給食センター整備費 1,167,666千円 中学校給食材料購入費 56,184千円 中学校給食センター管理運営費 60,710千円</p> <p>【成果目標】 ・中学校給食の開始</p>	<p>分野:学校教育 施策:豊かな心と健やかな体の育成</p>	<p>①未来を担う子ども育成プロジェクト</p>
<p>4 <学校ICT教育の推進> Society5.0時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤として先端技術等の主体的な活用が求められています。そのため、「GIGAスクール構想」で配備された1人1台の端末を、自分でどのように使うかを考え活用する力を身につけることで、新学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びの実現を進めていきます。さらに、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTの活用により、全ての子どもたちに学びを保障できるように、教員のスキルアップを図る必要があります。</p>	<p>④ NEW草津型アクティブ・ラーニングでは、「1人1台端末」を活用することで、個別最適化された学びを進め、アナログとデジタルを融合させたハイブリッドな学習により、主体的・対話的な授業となるよう改善を図り、学力の向上を目指します。</p>	<p>【取組】 ・1人1台配備された端末の効果的な活用について研修・研究を進め、質の高い授業実践に取り組むことで、児童生徒の主体的・対話的で深い学びに向かう力を高めます。 ・国の「学習者用デジタル教科書実証事業」に参加した市立小学校12校、中学校4校が、より効果的な活用方法について授業研究が進められるよう支援します。 ・草津市教育情報化推進計画(第2期)を改定し、本市学校教育における「教育の情報化」の基本的な考え方と方向性を明確にします。</p> <p>【成果目標】 児童生徒アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」肯定的回答 90%以上(令和2年度:92.3%)</p>	<p>分野:学校教育 施策:教職員の指導力の向上、教育環境の充実</p>	<p>①未来を担う子ども育成プロジェクト</p>
<p>5 <基礎学力向上のための取組の充実> 新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びの実現とともに、児童生徒が基礎的・基本的な知識を身に付けることができるようにするためには、指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図る必要があります。</p>	<p>⑤ ・教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、児童生徒の学ぶ力向上を目指します。 ・中学校入学後の生徒一人ひとりの学習上のつまずきを把握し、克服する支援を行うことにより、生徒の学びのサイクルの確立を目指します。</p>	<p>【取組】 ・学校における「指導と評価の一体化をめざした授業づくり」を進めるために、学力向上マネジメント会議(年3回)や令和の四改革セミナーを行います。 ・中学2年生を対象とした共通テストの実施と、テスト後の補充プリントによる学習支援を行います。 (事業費) ・子どものつまずき発見・克服事業 委託料 2,064千円</p> <p>【成果目標】 ・「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と肯定的に回答した児童生徒 小80%以上 中70%以上(令和2年度 小78.0% 中71.1%) ・補充プリントの提出率 90%以上(令和2年度 国語90.3% 数学89.2%)</p>	<p>分野:学校教育 施策:確かな学力の育成</p>	
<p>6 <学びの基礎となる読みの力の定着> 市内小学校において、1年生の段階で、学習の基本となるひらがなの読み書きにつまずいている児童が一定数います。1年生時のつまずきは、高学年段階での学習困難の大きな要因となっていることから、低学年の早い段階から効果的な指導・支援を行う必要があります。 また、文章を素早く正確に読む力は「読解力」の向上につながり、効果的な「読み」の指導を早期から継続的に行うことが、学力向上につながります。 これらのことから、読みにつまずく児童を、1年生のうちに早期発見し、具体的かつ効果的な支援を即時行う必要があります。</p>	<p>⑥ ・年間を通して定期的なアセスメントを行い、学習につまずく児童を早期発見するとともに、科学的根拠のあるアセスメント結果に基づく、効果的な指導・支援を行います。 ・1年生の国語科の授業において、科学的根拠のある「読み」の指導を継続的に行い、学力の基盤となる読みの力の向上を図ります。 ・取組の実践、成果を広く公開・発信し、保護者・教職員等の理解・協力を得るとともに、次年度以降の事業拡大を目指します。</p>	<p>【取組】 1年生学級の国語科の授業において、児童の読みの力を分析・把握し、タブレットPCを活用し、一人一人の課題に応じ、多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を年間を通して行います。 (事業費) 小1学びの基礎育成事業 520千円</p> <p>【成果目標】 1年生の指導終了時に読みにつまずく児童の割合8%以下 (令和2年度 15.4%)</p>	<p>分野:学校教育 施策:確かな学力の育成</p>	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R3 主な事業
<p>7</p> <p><英語教育の推進> ・令和2年度(中学校は令和3年度)から適用されている新学習指導要領に基づき、全面実施となる英語教育は、令和2年3月に策定した「草津市英語教育ステップアッププラン」に基づいて、市内の小・中学校で計画的に授業内容の充実を図る必要があります。 ・本市が目指す英語教育を「急速にグローバル化する社会において、自らの考えや意見、情報を積極的に発信し、他者と主体性を持って英語でコミュニケーションができる力を育成する」とし、小・中学校の円滑な接続を図るため、子どもの言語活動の充実を目指した英語教育を推進していく必要があります。</p>	<p>7</p> <p>教員の英語力、指導力の向上や、英語を用いたコミュニケーション活動の充実を図るとともに、「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」の作成・実践・検証に取り組み、新学習指導要領に基づく、新しい英語教育を進めます。</p>	<p>7</p> <p>【取組】 ・同一中学校区内の小・中学校の連携を重視し、小・中学校の円滑な接続と連携を図れるようにします。 ・小学校5年生から中学校3年生までの系統性を考慮した「草津版CAN-DOリスト」を評価基準とし、具体的な授業モデルとして「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」を作成し、連続性をもった教育を実施します。 ・3名のALTが全小・中学校へ巡回し、英語力の向上に向けた実践的な取組を推進します。 ・英語専科教育を県費で配置している学校については、JTEの配置と重ならないように調整を図ります。 (事業費) ・JTE配置費 4,209千円 ・ALT配置費 14,553千円</p> <p>【成果目標】 ・中学校卒業時に、CEFRレベルA1の生徒 60%以上 (令和2年度56.0%) ・英語(外国語活動)が好きと回答した児童生徒 80%以上 (令和2年度76.8%)</p>	分野:学校教育 施策:確かな学力の育成	R3 主な事業
<p>8</p> <p><不登校の子どもたちの居場所の確保と社会的自立の支援> 市内小中学校では、不登校児童生徒が増加傾向にあることから、ひきこもり防止や社会自立のための居場所をつくる必要があります。 また、不登校児童生徒の増加とともに、フリースクール等の民間施設を利用する児童生徒が増えていることから、経済的な理由で通えないということがないよう、学ぶ場を保障することが必要です。</p>	<p>8</p> <p>居場所や学びの場を必要としている児童生徒が、社会的自立をめざした支援を受けられるよう、補助金制度を創設します。</p>	<p>8</p> <p>【取組】 市が認定するフリースクール等の民間施設を利用する場合に、利用料等に対する支援を行い、不登校の子どもたちの居場所を確保し、社会的自立を促すよう支援するとともに、保護者の経済的な負担の軽減を行います。 (事業費) 不登校支援フリースクール利用助成費 1,920千円</p> <p>【成果目標】 補助金交付要綱を制定し、各小中学校等への制度の説明・周知を行います。</p>	分野:学校教育 施策:豊かな心と健やかな体の育成	①未来を担う子ども育成プロジェクト
<p>9</p> <p><学校等の施設・設備の整備> ・小中学校施設は建築後相当の年数が経過しており老朽化が著しい状態です。また、グラウンド等の屋外施設や受電設備等の付帯設備についても、未改修の学校が多く、老朽対策工事を進める必要があります。 ・学校施設の構造体に係る耐震化は完了していますが、構造体以外の天井や窓、備品等(非構造部材)の耐震化が完了しておらず、これらの耐震対策を進める必要があります。</p>	<p>9</p> <p>・学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、老朽化が進む小中学校施設等の改修とバリアフリー対応の工事・設計を行います。 ・地震に対する学校施設の安全性を確保するため、小中学校校舎の非構造部材について耐震工事を行います。</p>	<p>9</p> <p>【取組】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行います。 <令和3年度> (事業費)13,112千円 ・志津南小学校大規模改修2期工事修正設計業務(626千円) ・新堂中学校体育館トイレ改修工事修正設計業務(447千円) ・松原中学校トイレ改修工事実施設計業務(4,207千円) ・笠縫東小学校グラウンド改修工事実施設計業務(7,832千円) <令和2年度予算明許繰越> (事業費)524,986千円 ・松原中学校体育館大規模改造工事(312,862千円) ・松原中学校体育館大規模改造工事監理業務(7,072千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事(26,898千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事監理業務(2,149千円) ・老上中学校トイレ改修工事(89,790千円) ・老上中学校トイレ改修工事監理業務(4,386千円) ・老上小学グラウンド改修工事(78,298千円) ・老上小学グラウンド改修工事監理業務(3,531千円)</p> <p>【成果目標】 各工事、実施設計の完了</p> <p>10</p> <p>【取組】 小学校の非構造部材の耐震対策工事を行います。 <令和2年度予算明許繰越> (事業費)22,588千円 ・山田小学校非構造部材改修1期工事(19,096千円) ・山田小学校非構造部材改修1期工事監理業務(3,492千円)</p> <p>【成果目標】 校舎の非構造部材の耐震化実施校率(累計)67.5% (令和2年度:65%)</p>	分野:学校教育 施策:教育環境の充実	①未来を担う子ども育成プロジェクト

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R3 主な事業
<p>10 <市民に役立つ図書館運営の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度策定しました『草津市の図書館運営計画(2020-2024)後期運営計画』の計画期間2年目にあたります。 ・今後取り組むべき主な課題として、 <ul style="list-style-type: none"> ●地域の中の情報拠点として、まちづくり、地域づくり、すべての市民に役立つ図書館となるよう、すべての人がいきいき暮らせるための情報提供の充実を図る必要があります。 ●市内各地域の特徴(人口構造)にあわせた全域サービスを行う必要があります。 ●前期の主な成果事業を維持し、充実して図書館サービスを行う必要があります。 ・図書館は、地域住民の図書館利用の権利、知る権利・読む自由の保障や民主主義の実現にとって基礎的な施設であることを自覚し、改めて、地域住民への資料・情報提供を基礎としたサービスの展開を柱にその役割を果たすと共に、目まぐるしい社会環境の変化に対応しながら、「市民のための図書館」としてその機能の充実を図る必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症対策の一環として、「在宅時間の充実」のための蔵書の充実を図る必要があります。 	<p>⑩ <図書館サービスの質を高める></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活に潤いを与え、心豊かな人づくりに役立つ図書館・・・A, B, C ・地域の情報拠点として、まちづくり、地域づくり、すべての市民に役立つ図書館・・・D, E ・未来を担う子どもの育成を推進し、子どもの成長に役立つ図書館・・・F, G ・草津の歴史文化を未来に伝える図書館・・・E <p>⑪ <図書館運営の充実を図る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の充実 ・図書館の環境整備 ・図書館職員の人材育成 	<p>⑩</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> A.市民の興味関心に応え、くらしの中での課題解決や主体的な学習を支援する情報提供やレファレンスサービスのレベルアップを図ります。 B.市民のライフスタイルや読書要求に対応した図書館サービスの構築に努めます。 C.多くの市民に図書館を利用していただくための広報活動の強化に努めます。 D.地域活動の場として、図書館活用の促進に努めます。 E.すべての市民がいきいき暮らせるために配慮が必要な人へのサービスの充実を図ります。 F.未来を担う子どもの育成を推進するため、年齢・対象別事業の充実を図ります。 G.市立図書館の持つ専門性や経験を活かした学校教育活動の支援を行います。 H.学校図書館充実のための支援 I.ファシリティマネジメント <p>【成果目標】</p> <p>アンケート実施による利用者満足度 75.6% (令和2年度 75.6%)</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 施策:生涯学習機会の充実</p>	
<p>11 <市民の生涯スポーツ活動の支援></p> <p>「する みる 支える 知る」“ALLくさつ”でつなぐ健康スポーツのまちを基本理念とした第2期草津市スポーツ推進計画(令和3年度～令和7年度)に基づき、さらなるスポーツの推進に取り組む必要があります。</p>	<p>⑪ 誰もが気軽に参加し楽しめる、民間事業者主体のランニングイベント「健康都市くさつランフェスティバル」への支援を通じ、官民連携による生涯スポーツの推進に取り組みます。</p>	<p>⑫</p> <p>【取組】</p> <p>健康都市くさつランフェスティバルの開催に向け支援を行います。 (事業費)</p> <p>くさつランフェスティバル開催費補助金 2,000千円</p> <p>【成果目標】</p> <p>くさつランフェスティバルの開催(令和2年度は中止)</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 施策:スポーツ活動の推進</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>
<p>12 <第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の推進></p> <p>コロナ禍により1年延期となりました令和7年(2025年)に滋賀県で開催予定の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会は、本市においても水泳、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、軟式野球など、多くの競技の開催を予定していることから、計画的かつ効率的な準備業務を進める必要があります。</p> <p>また、コロナ禍以降の大規模大会として、今後の先催事例等を参考にし、適切な大会運営を検討していく必要があります。</p>	<p>⑫ 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を設置し、関係機関・団体が連携して準備を進めることで、さらなるスポーツ健康づくりの推進や交流人口の増加による街の活性化につなげます。</p>	<p>⑬</p> <p>【取組】</p> <p>第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を設置します。 (事業費)</p> <p>第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会準備費 914千円</p> <p>【成果目標】</p> <p>第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会設立総会の開催</p>	<p>分野:生涯学習・スポーツ 施策:第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の推進</p>	<p>②地域の支え合い推進プロジェクト</p>
<p>13 <文化・芸術活動の推進></p> <p>国では、文化を観光やまちづくりなど各分野に活用しようと、平成29年6月に「文化芸術基本法」が施行され、平成30年3月6日に文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的推進を図るため、「文化芸術推進基本計画」(第1期)が閣議決定されました。</p> <p>本市においても、平成29年7月1日に基本理念等を定めた草津市文化振興条例を施行するとともに、平成30年3月に草津市文化振興計画を策定し、草津らしい文化の創造と発展を目指すための基本方向等を定めました。</p> <p>文化は、人と人をつなぎ、豊かな人間性を育み、人が人間らしく生きるための糧となるものであり、地域で育まれる文化は、その土地に住む人々の心の拠り所にもなることから、コロナ禍の状況においても様々な機会を通じて市民が文化に触れる機会を提供する必要があります。</p>	<p>⑬ 文化振興計画に基づいて、誰もが等しく文化に触れられる市民文化政策の推進と、個性ある文化の創造により都市の魅力高める都市文化政策の推進を図り、「出会い」と「交流」に満ちた草津市の文化を創造し、発展させます。</p>	<p>⑭</p> <p>【取組】</p> <p>草津市文化振興計画に基づく文化振興プログラムを実施し、草津市における文化振興を特徴づけ、草津らしい文化の創造を促進します。 (事業費)文化振興プログラム推進費 4,712千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草津市文化振興審議会開催 ・アートフェスタくさつ開催 ・草津シネマ塾開催 <p>【成果目標】</p> <p>文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 21.4% (令和2年度実績 21.2%)</p>	<p>分野:歴史・文化 施策:文化・芸術活動の推進</p>	
<p>14 <歴史文化に親しむ機会の創出></p> <p>草津の歴史文化の特色である草津宿や街道文化に対する関心を高め、ひとりでも多くの人にふるさとである草津に愛着を持ってもらえる取組が必要です。</p> <p>そうしたなかで、これまでの見学や参加型の事業展開に加え、SNSをはじめとするさまざまな情報発信ツールによる、草津宿や街道文化の魅力発信の必要性が求められています。</p>	<p>⑭ 草津宿街道交流館や史跡草津宿本陣での展示や講座など施設内での取組とともに、両館のホームページやフェイスブック、ツイッター、また、啓発情報誌、メディアなども積極的に活用し、草津宿本陣をはじめとする草津宿や街道文化の魅力発信に取り組んでいきます。</p>	<p>⑮</p> <p>【取組】</p> <p>館のホームページやフェイスブック、ツイッターに草津宿本陣や草津宿街道交流館の事業内容や、所蔵する歴史資料などの紹介を掲載するとともに、えふえむ草津の番組や関係団体などの情報誌へ草津宿の魅力紹介などを行います。</p> <p>【成果目標】</p> <p>情報発信件数 年間400件以上(令和2年度 392件) [* 新型コロナウイルスについては、高齢者向けのワクチン接種がようやく開始されようとしている状況であり、上半期は、例年に比べて入館者数は減少すると見込まれます。その間においても、草津宿の歴史や街道文化に纏わる話題などを積極的に発信し、令和2年度並みの発信に努めてまいります。]</p>	<p>分野:歴史・文化 施策:歴史文化に親しむ機会の創出</p>	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R3 主な事業
<p>15</p> <p>＜文化財の調査と保護の推進＞ 国の文化財保護の方針は、個別の文化財保護を目的としたものから、歴史資産の保存・活用に向けた取組へと移行しています。その中で、本市の歴史文化が抱える課題について、市民と行政が互いに協力し、地域に埋もれた歴史資産の掘り起しや保存・活用のための仕組み・体制づくりを進める必要があります。 一方、人口流入や少子高齢化などに起因する地域の人口構造の変化により、文化財の保存・継承に影響が出つつあります。</p>	<p>15</p> <p>・文化財の適切な管理・継承・整備・活用を目指し、本市の歴史文化の特徴を表す国指定史跡の整備を進め、歴史文化を活用する多様な機会の創出を図ります。 ・市民と行政が協力しながら文化財を保存・継承する意識を醸成するため、新旧の市民がともに歴史文化に親しみ大切さを理解するための学習機会を設けます。</p>	<p>16</p> <p>【取組】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本計画に基づき、令和2年度に引き続き全体の整備計画図である基本設計の作成を行うと共に、仮設道路部分の実施設計等を行います。 ・史跡草津宿本陣保存活用計画に基づき、史跡整備に向け、耐震調査結果を反映しながら、史跡全体の整備内容や方針・スケジュール等を定める整備基本計画を策定します。 ・文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化の価値や魅力を広く市民等に伝えるため、文化財の保存・活用への基盤づくりに向けた啓発事業を実施します。 （事業費） ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および仮設道路部分の実施設計等の実施 10,012千円 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の作成 4,891千円 ・文化財普及啓発 861千円</p> <p>【成果目標】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および仮設道路部分の実施設計の作成 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の策定 ・文化財の保存・活用啓発活動の件数 20件（令和2年度 15件）</p>	<p>分野：歴史・文化 施策：文化財の調査と保護の推進、歴史資産を活かしたまちづくり</p>	<p>③にぎわい・再生プロジェクト</p>
<p>16</p> <p>＜学校における新型コロナウイルス感染症の対策＞ 新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、学校において感染拡大を抑制し、学校教育活動の円滑な運営と、教職員の負担軽減を図る必要があります。</p>	<p>16</p> <p>学校における新型コロナウイルス感染症対策や教職員の研修支援等に向けた取組を行います。</p>	<p>17</p> <p>【取組】 国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、保健衛生用品等や家庭における効果的な学習のための教材の購入を進め、学校における感染症対策や教職員の研修支援、児童生徒の学びの保障等に向けた取組を進めます。 （事業費） 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費 29,200千円</p> <p>【成果目標】 ・保健衛生用品等の購入により、感染症対策のさらなる強化を図ります。 ・研修等の実施により、コロナ禍に対応するための教職員の資質向上を図ります。</p> <p>18</p> <p>【取組】 学校における新型コロナウイルス感染症の拡大の抑制に努め、児童生徒が安心してすごすことができるよう、学校衛生管理サポーターを配置します。 （事業費） 学校衛生管理サポーター配置費 10,745千円</p> <p>【成果目標】 学校衛生管理サポーター 各校に1名ずつ配置（小中学校20校）（令和2年度 小中学校20校に配置）</p>	<p>分野：学校教育 施策：教育環境の充実、教職員の指導力の向上</p>	<p>⑥新型コロナウイルス感染症対策関連予算</p>